

高山の文化

No.223 2021.1.1 Culture in Takayama

一般社団法人 高山市文化協会 発行

高山市昭和町1丁目 高山市民文化会館内 Tel.34-6550 Fax.34-6877
メールアドレス●mail@takayama-bunka.org
ホームページアドレス●http://www.takayama-bunka.org
文化情報番組「すばらしき文化の和」●HitsFM(76.5MHz)水曜AM9:30より放送中



飛騨山岳会百周年記念碑
【西之一色町・文学散歩道沿いの山岳資料館前】
飛騨山岳会創立百周年を記念して平成20年に建立
「腰の山刀伊達には差さぬ
山郷育ちのララ荒男 タ咲」

明けましておめでとうございます。会員をはじめ市民の皆様には、令和三年の新しい年をお健やかに迎えのことと存じます。
日頃は、一般社団法人高山市文化協会の活動に對しまして、格別のご理解とご協力をいただき、心より厚くお礼申し上げます。
昨年春からの新型コロナウイルス感染症の猛威は、私達の日常生活に不自由を強いるばかりか、心の支えとなる文化活動にも多大な影響を与え、皆様に大きなストレスを与えたことと思います。
昨年、当協会加盟団体に活動実態をお聞きしたところ、九割を超える団体が何らかの制限を受け、組織の運営も極めて困難な状況であることが明らかになりました。
こうした中であって当協会は、活動の規模を縮小しながらも、市民文化芸術鑑賞事業や、飛騨文芸祭・短歌会及び俳句会などの文芸作品の募集を中心に事業を進めてまいりました。
しかし、未だにコロナ禍

令和3年

新春飾り物展

～千支「丑」と歌会始お題「実」～

日時

1月15日(金)～17日(日)

午前9時～午後5時
(最終日午後4時まで)

主催：高山市／(一社)高山市文化協会 共催：高山飾物同好会

場所

高山市民文化会館 3階

●一般の部(講堂)
●高校生の部(美術工芸室)

「先発後進」という恐ろしい言葉がある。競馬の先行馬や競輪のトップ引きのことばかりではない。先に開発した技術や経験が、後から来たのに追い抜かれること。現代の「兎と亀の競争」とでも言うべきか。
先発医薬品の特許が切れた後のジェネリック(後発医薬品)なんてのもある。コロナのワクチンの開発も、「先手必勝」か「後発有利」か。世界中が息を潜めて見詰めている。今のところアメリカが先行。
陸奥東北では、過去に総理大臣が出たのは、原敬や鈴木善幸などの岩手県のみ。今回はさらに奥の秋田県から菅氏。失礼ながら、筆者にはあの顔は亀に重なる。後発総理は、コロナ禍中(火中)の栗を拾い、日本を救って下さるか。
「プラタモリ」が飛騨に来て「アゲアゲの飛騨」と言った。もはや「下々の国」ではない。高山は「小京都」を標榜し観光資源を開発した。しかしその後は、日本中「小京都」だらけ。
何事も先発の兎は大変で、後から牛も亀も狸も来る。
(ガンモン毛筆)



飛騨山岳会百周年記念碑
【西之一色町・文学散歩道沿いの山岳資料館前】
飛騨山岳会創立百周年を記念して平成20年に建立
「腰の山刀伊達には差さぬ
山郷育ちのララ荒男 タ咲」



「次代に続く文化の創造に向けて」
(一社)高山市文化協会 会長 小林 浩

が終息する気配が見られませんが。この様な時勢だからこそ「何が出来るのか」「何をしなければならぬのか」を見極め、私たちの日常生活の中に気軽に文化に親しみ、楽しみながら活動に参加できる環境を取り戻したいと考えています。

動と、その核となる公共施設はどうあるべきかについて、貴重な助言と指導を受けましたので、これまでの実績を踏まえ具体的な考えをまとめ、高山市へ提言してまいります。
今年も当協会を取り巻く多くの課題はありますが、このコロナ禍がもたらした事態を教訓とし、次代に続く新しい文化の創造に向けて、皆様方と共に活動していきたいと考えています。
どうか今年こそ、穏やかで充実した文化活動が身近なところで展開されることを祈念申し上げ、年頭のごあいさついたします。

花里小学校
東山中学校の
校歌の作曲者

市民文化芸術鑑賞事業

湯山昭の音楽

What The World Needs Akira Yuyama

湯山昭の音楽を7組のプレイヤーがトリビュートするコンサート

プロデュースは娘の湯山玲子！

コーラス
赤い靴

女声合唱
さつき

コール
からたち

コーラス
こおろぎ



新垣隆
(ピアノ)



林正子
(ソプラノ)



THE LEGEND
(男声オペラユニット)



池上英樹
(マリンバ)



上野耕平
(アルトサクソフォン)



福田廉之介
(ヴァイオリン)

モダンな和声と複雑系リズム

悲しい明るさが止まらない！！

『おはなしゆびさん』等の童謡、150版を重ねるピアノ曲集『お菓子の世界』、日本の合唱界を牽引した『四国のこども歌』などの作品で知られる湯山昭は、戦後の作曲家の中では、最も大衆に愛された存在。印象派の楽曲を思わせる色彩豊かな和声感、ジャズ的なリズム、日本語の歌詞と渾然一体となった抒情など、昭和の作曲家の掘り起こしが始まっているYouTube時代だからこそ体験したいこれらの作品群を、才能ある演奏家たちが、感性を込めて演奏していきます。

合唱曲『思い出の高山』に込められた想い

妻として湯山昭を支え、児童合唱団を主宰してきた湯山桂子(旧姓:堀尾)の生まれ故郷が高山。湯山昭がしばしば訪れ、医師三島健吉氏との交流から生まれた『思い出の高山』が地元合唱団コーラス赤い靴、女声合唱 さつき、コールからたち、コーラスこおろぎの歌声で披露されます。

娘・湯山玲子による楽曲解説

NHK『ごごナマ』等でお茶の間に馴染みの湯山玲子は、クラシック音楽のプロデューサーとしても活動しています。湯山昭の音楽の魅力、聴き方についてお話しする中で、曲がつくられた時代背景などを含めて、理解を深めていただければこんなに嬉しいことはありません！

チケット
好評発売中！

2月27日(土) 15時開演(14時15分開場)

会場：高山市民文化会館大ホール(高山市昭和町1丁目188-1)

一般：S席3,500円/A席2,500円 メセナメイト会員：S席3,000円/A席2,000円

ジュニア(18歳以下)：S席A席ともに 500円 ※3歳未満のお子様は入場をお断りさせていただきます。

チケットのご購入・お問い合わせは

高山市民文化会館 0577-33-8333

チケットぴあ

Pコード：190-967



新型コロナウイルス対策へのご協力をお願い申し上げます。 ※ご入場の際には、マスクの着用(窓口での有料販売有り)手指の消毒の徹底、検温の実施にご協力をお願いいたします。※体調のすぐれない方、検温により高熱(概ね37.5度以上)のある方の入場はご遠慮いただきます。(チケット料金は窓口にてお返しいたします。)※チケットの半券に「お名前」「電話番号」をご記入の上、受付で切り離してご提出ください。※場内では、大声での談笑、声援などをご遠慮ください。※休憩中のお手洗いへの移動なども、密集とならないようご注意ください。

【主催】高山市／一般社団法人 高山市文化協会 【企画】爆クラ／有限会社ホウ71 【制作】プロマックス
公演に関するお問合わせ：一般社団法人 高山市文化協会 0577-34-6550 / mail@takayama-bunka.org

